



公益社団法人阿見町シルバー人材センター  
広報委員会

住所 〒300-0331

稲敷郡阿見町阿見4671-1

TEL 029(888)2036

FAX 029(840)2486

URL (ホームページ) <https://webc.sjc.ne.jp/ami/>

会員数360名(12月31日現在)

男263名 女97名

第162号 令和2年1月23日発行

## 年頭のご挨拶

理事長 千景 繁

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、お健やかに新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、各分野での就業にご精励いただくと共にシルバー人材センター事業に多大な協力をいただき、誠にありがとうございました。

さて、我が国において少子高齢化により、ますます人口減少が進む中、経済成長を維持するための一つとして、働く意欲のある高齢者が活躍できる「生涯現役社会」を実現することが一層重要となっております。このような中、シルバー人材センターは、地域に密着した就業機会を提供することにより、高齢者の「居場所」と「出番」を創り、「生涯現役社会」の実現に寄与しなければなりません。当センターでも、更なる会員と就業機会の拡大を目指し様々な取り組みを実施することといたしております。そのためには、お客様はもとより会員の皆様にとっても“魅力あるシルバー人材センター”となるよう更に努力して参りますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

会員の皆様におかれましては、健康管理にご留意いただき、本年が皆様にとって健康で幸多い年となりますことを祈念いたしますと共に、センター事業に更なるご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

### 理事会

○令和元年12月23日(月)令和元年度第9回理事会が開催され、次の議案が審議承認されました。

1. 正会員及び賛助会員入会の承認について
2. 県シ連、ダイヤ高齢社会研究財団との共同研究事業への参加について

### 安全委員会

○令和元年12月5日(木)安全パトロールを実施しました。福祉センター「まほろば」の管理業務とジョイフル本田の灯油販売業務を訪問し、会員の皆様が日常の業務に於て安全就業が図られているかの確認を行いました。

○令和2年度「シルバー人材センター安全就業スロガン」を募集し、優秀な2作品を県シ連に推薦します。応募用紙はセンター事務所配布します。なお、提出日は2月14日(金)まで必着とさせていただきます。奮ってご応募ください。



## 事業委員会

○11月29日（金）企業訪問活動を実施しました。事業委員会の委員と事務局が2班に分かれて計10社を「日頃お世話になっていること、これからもよろしくお願いいたします」という内容で訪問させていただきました。今後も訪問活動を実施し公共施設や企業にご挨拶をさせていただきたく計画をしています。



## 事務局

○**配分金支払い証明書**は、昨年1年間に就業して得た配分金に関するもので、確定申告に必要な書類です。該当する会員は確定申告を必ず行って下さい。（別紙参照）

## 事業推進本部

### ～接遇マナー講習会を受講して～

11月21日（木）接遇マナー講習会を受講しました。常陽産業研究所から派遣された講師は今回から代われ初々しい鈴木菜穂先生でした。私も今回で3回目の受講になりますが、毎回新鮮な気持ちで受講しています。講習の最後はいつものように「NHK」でした。参加された方は憶えていますか。まだ受講されていない方もいらっしゃるので回答は控えておきます。「この人になら安心して任せられる！またシルバーさんをお願いしよう！」と言ってもらえるように講習で学んだことを生かしていきたいです。 M・Y



今年度第2回目の接遇マナー講習を3月9日（月）に予定しています。まだ受講されていない方と公共関係に就業されている方の一部の方にご案内を出していますので参加の程よろしくお願いいたします。また、参加・不参加の連絡を2月20日（木）までに必ずお願いします。

## 会員の広場 《私のふるさと&就業》

私の故郷は、火の国熊本の山鹿市になります。豊かな自然環境のもと、古代から近代に至る歴史・文化遺産、伝統工芸・芸能、豊富な農林産物などが有り、長い歴史を持つ山鹿温泉、熊入温泉、平山温泉、菊鹿温泉、鹿本温泉は「美人の湯」ともいわれています。8月15・16日に開催される「山鹿灯籠まつり」では、「奉納灯籠」や「金灯籠」を頭に掲げた女性たちが優雅に舞い踊る「千人灯籠踊り」があり、幾重にも重なる灯りの輪が見る人を幻想的な世界へと誘います。和紙だけで作られる「山鹿灯籠」は、平成25年に『国指定伝統的工芸品』の指定を受けました。



私は29歳で阿見町の住人になりました。65歳まで勤め上げた後の平成25年にシルバー人材センターの会員になり、爾来多種多様の仕事をさせて頂いています。

公民館・ふれあいセンターの仕事では、お客様からのご要望に対し、可能な限りの対応をして、「気持ちよくご利用いただくこと」、「喜んでいただくこと」をモットーに日々努力して参りました。

さて、シルバー人材センターでは幅広い業務を行っておりますが、農業を行っていることをご存じでしょうか？私は農業にも携わっていますので、その概要についてご紹介させていただきます。

農業の仕事は概ね3月～12月の期間で、内容に応じて2～6名で仕事を行っています。作業を行う田圃たんぼや畑は町内の全域に点在しており、中には40町歩（東京ドーム8.5個分）に及ぶ田圃もあります。農業の仕事を作物で言えば、「野沢菜」「ショウガ」「グラジオラス」「サツマイモ」「お米」がメインになります。

まずは「野沢菜」。これは種蒔きから収穫までの一連の作業を行います。「阿見町で野沢菜・・・？」と思う方もいらっしゃるでしょう。何と私達が収穫した「野沢菜」は、長野県内に出荷され「野沢菜漬け」に加工されているのです。皆様がお口にしている「野沢菜漬け」の中には、阿見町育ちのものがあるかもしれませんね。

次は「ショウガ」です。「ショウガ」は収穫前の「葉切り」を行います。ハサミでサクサクと葉を切って行くと、爽やかなショウガの香りに包まれます。

真夏の花「グラジオラス」は、春から夏まで「球根の植付け」を行います。花が咲くと養分が取られて球根が肥大しなくなるため「花がら摘み」を行います。摘んだ花を沢山分けていただき、ふれあいセンターのロビーに飾った時、多くの来館者の方々から「花が大きくて綺麗ですね」などと、お言葉を頂戴したこともあります。収穫した球根達が来年の夏は何処の花壇や庭園で花を咲かせるのかちょっと気になります。ところで、グラジオラスには色別の花言葉があることをご存じでしょうか？ピンク色は「ひたむきな愛」、紫色は「情熱的な恋」、白色は「密会」、赤色は「用心深い」だそうです。

「お米」は、種蒔き、田植え時の苗運び、もみ殻のビニール袋詰めがメインの作業になります。広大な田圃での苗運びは少しばかりキツイのですが、真直ぐに植えられた早苗を見ていると清々しい気持ちになります。



す。田圃の脇を車で通りがかった時は、一時停車して稲の生育状況を見ることも楽しみの一つになっています。もみ殻のビニール袋詰めは、6人で1日150袋、1週間で約1000袋位詰めるので、作業終了後には小さな山を一つ築き上げたようで、一仕事やり遂げた感じがします。各農家さんでの仕事は、その都度内容が違い戸惑うこともあります、「与えられた仕事は依頼された方が喜んでもらえるような仕事をしてゆくこと」という信念のもと頑張っているところです。

変わったところでは、「牛久大仏大陶器市」での仕事もあります。「全国大陶器市振興会」が主催し、例年9月上旬から半月程の期間に全国の有名産地の焼き物20万点を集めて販売するものです。この時は15人位で会場の設営～焼き物の陳列～大陶器市終了後の後片づけまで行っています。

最後に私達はシルバー人材センターから派遣され、皆さんに喜ばれる仕事をするのが大事であると思います。忘れてならないのは、私達に仕事をさせて頂けることです。自宅でもせず<sup>くたび</sup>燻ってばかりいては、「ぬれ落ち葉」や「ワシも族」になって病気や体調を壊すことも多いと思います。

会員の皆様方がより多くの仕事に就き、お客様やシルバー会員と会話することが、充実した人生の糧になると思います。

これからも楽しく、依頼者様からも信頼される仕事を目標に頑張っていきたいと思います。

J・N 会員

| ●新しい会員のご紹介 (R元年11月1日～12月31日) 7名 |        |      |      |       |     |
|---------------------------------|--------|------|------|-------|-----|
| 会員番号                            | 氏名     | 行政区  | 会員番号 | 氏名    | 行政区 |
| 1562                            | 太田 恵子  | 白鷺団地 | 1566 | 栗山 春美 | 一区南 |
| 1563                            | 野口 眞知子 | 下島津  | 1567 | 山田 重子 | 若栗北 |
| 1564                            | 宮崎 敏光  | 鈴木   | 1568 | 長南 忠  | 上郷  |
| 1565                            | 田上 義一  | 本郷   |      |       |     |



一口メモ

昨年12月1日に、運転中の携帯電話及びスマートフォンの使用（ナビの注視も含まれるようです）所謂「ながら運転」<sup>いわゆる</sup>について厳罰化する道交法の改正がありました。

「ながら運転」については、老若男女問わず散見され、走行車線をはみ出しヒヤットする場面に遭遇する時もあります。

運転中の携帯電話、スマートフォン使用の禁止は当然でしょう。やむをえずの通信に際しては車を左寄せし、サイドブレーキを掛けハザードランプ点灯で使用すべきです。

話題を変えて、人生（仕事）には、上り坂、下り坂そして真坂の3つの坂があると言われています。“まさか”こんな所で人（子供）が飛び出すとは、“まさか”こんな所で小石が飛んでくるとは、“まさか”……など真坂の領域に入り込まぬ事が大切です。『力抜いても、気は抜くな』 御安全にと願うばかりです！

広報 M・y